

「第 24 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議」

令和 2 年 5 月 19 日（火）15 時 00 分
都庁第一本庁舎 7 階特別会議室（庁議室）

【危機管理監】

それでは、ただいまより第 24 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を実施いたします。本日も、前回と同じように、半分程度の各局長等の皆様には、Webex にて参加いただいております。

それでは、資料に基づいてまず私の方から説明いたします。表紙をおめくりください。現在の世界の感染の状況でございます。世界では、460 万を超える感染者数、それから 31 万人を超える死者数が、昨日の時点で発生しております。その下欄は、国内の発生状況です。国内では、1 万 6000 を超える感染者数、そして 749 名という死者数となっております。一番下の発生状況、昨日の時点で 5055 名の方が、陽性者として発生しております。

資料 1 枚おめくりください。国の動きに関しては、大きな動きはございません。

資料 2 枚おめくりいただきまして、「2. 都の対応」と書いておりますページをご覧ください。一番下のところですが、5 月 15 日に新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ（骨格）を公表しております。

以上、1 枚おめくりください。新型コロナウイルス感染症への各局の対応です。中ほど下の方になりますが、政策企画局のところですね、1 都 3 県でテレビ会議を実施いたしまして、共同メッセージを発出したということです。これは、後ほど政策企画局長の方からご説明をいただく予定です。

資料 1 枚おめくりいただきまして、主税局のところですね。下線部になります。納税者の外出抑制、金融機関等の 3 密防止に資する、スマートフォン決済アプリによる都税の納付に関しまして、6 月 1 日より開始しております。このほか、各局の新たな取り組みはございません。

資料 4 枚おめくりいただきまして、令和 2 年第 2 回定例会の補正予算（案）について、という資料をお付けしております。この補正予算に関しましては、後程本部長の方からご発言をいただく予定としております。

資料の最後のページをご覧ください。先ほどお話をいたしました、1 都 3 県の共同メッセージの資料が最後に添付をされておりますので、これをご参照ください。

それでは政策企画局長からお願いいたします。

【政策企画局長】

それでは私から、先ほど実施されました1都3県、テレビ会議についてご報告させていただきます。この会議では、1都3県の知事が、現状や取組について情報共有を図りました。各知事からは、具体的な連携の提案もありまして、今後、同じ危機意識のもと、連携を強化して、コロナ対策を進めていくことを確認いたしました。

また、緊急事態が継続中であることを踏まえた、感染予防徹底の呼びかけ、次なる感染拡大の波に備えた、1都3県の決意を込めまして、今画面にも写っております、資料につけてありますが、1都3県共同メッセージを都民県民に向けて発信していくことといたしました。私からは以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございました。

このほかご発言のある局長等の方、いらっしゃいますか。よろしいですか。

Webexでご参加されている局長の皆様でご発言のある方いらっしゃいましたらお願いします。よろしいですか。それでは、本部長からお願いいたします。

【知事】

ウェブ会議をすると、みんなマスクをしているので、誰なのかわからないですね。

令和2年第2回定例会に提案をいたします、補正予算案を取りまとめましたので、ここで発表させていただきます。

東京都緊急対策、第四段に掲げます施策のほか、感染症の防止と経済社会活動の両立を図るための施策等を実施します。そして、国の臨時交付金などを計上いたしまして、25の新規事業を始め、総額5832億円の補正予算案を提出するものであります。今回の補正予算を含めまして、令和2年度の予算での新型コロナウイルス対策は、総計で1兆円を超えることとなります。

第一に、感染拡大を阻止する対策でございます。こちら、1615億円になります。まず、緊急事態措置の延長に伴いまして、感染拡大防止協力金の支給でございます。5月7日から31日までの期間におきまして、都の要請、そして協力依頼に全面的にご協力いただける都内の中小事業者等に対しまして、前回同様、50万円、2店舗以上でご協力いただいた場合には、100万円を協力金として支給をするというものであります。

また、医療機関、社会福祉施設等における、感染を予防するために、マスクを1億200万枚、追加で提供いたします。このマスクの購入に当たりましては、守ろう東京新型コロナ対策医療支援寄付金によって得られました寄付金を一部充当する予定となっております。ご寄付いただいた皆様方には心から感謝を申し上げます。このほか、廃棄物処理に従事される皆様の感染予防対策として、マスク、そしてゴーグルなどの保護具を提供いたします。

続いて、医療提供体制等の確保でございます。新型コロナウイルスに関する検査のうち、

抗原検査の自己負担分の費用、35万件分を都が負担するというものであります。一方、抗体検査の方ですが、東京大学などが進める抗体特定プロジェクトに東京都医学総合研究所が参画しまして、診断率の向上や疫学調査等、感染拡大防止に寄与する研究を推進するというものであります。この中で、都立病院、公社病院と連携して、月3000件の抗体検査を実施いたします。

また、新型コロナ外来PCRセンターの支援を拡充する民間医療機関におけます、患者の受け入れ、さらに移送体制の確保など、感染の第2波に備えるために、必要な対策、体制を整備して参ります。

第二に、経済活動と都民生活を支えるセーフティネットの強化でございまして、こちらが3766億円になります。

まず経済活動ですが、中小企業の資金繰りを下支えする制度融資でございまして、資金需要が極めて高い、大変厳しいという現状を踏まえまして、融資目標額を従来の1.5兆円から、2.5兆円まで1兆円引き上げます。そのために必要となる預託金を増額するというものであります。

また、先週15日から登録の受け付けを開始いたしました。「アートにエールを！東京プロジェクト」でございまして、非常に反響をいただいております、一気にですね、もう満員御礼になってしまいました。一応1万6000人分の枠を拡大して、合計2万人分を支援するという、その予算であります。また舞台作品など、劇場やホールなどでの無観客公演などの支援も、新たに実施をいたします。

それから都民生活におきましては、経済的な影響を受けやすいひとり親家庭に対して、食料品などを提供することで、生活の安定を図れるように支援をして参ります。

また、学生が求職者の就職活動を支援する。そのために、オンラインにおきまして、就職相談をしたり、就活ノウハウを提供するセミナー、そして企業説明会を実施いたします。

それから第三に感染症の防止と経済社会活動との両立などを図る取組に対してでありますけれども、こちらは、81億円の計上となります。

都立学校・区市町村立学校・私立学校の再開に向けまして、新たにサーモグラフィーや、アクリル版などの導入を促進いたすというものであります。

また、感染防止と経済を両立できますように、「新しいあたりまえ」の定着を図るために、中小企業の3つの密を回避する取組を支援して参ります。

次に第四の柱ですが、「社会構造の変革を促して直面する危機を乗り越える取組」、こちらが369億円の計上となります。受付を開始しましてから多くの申請をいただいております中小企業のテレワーク導入の緊急支援であります。もともと予定しておりました3000件から、一気に1万7000件に大幅にふやします。受付の期間もですね、7月末まで延長いたしまして、都内の職場環境にテレワークを、しっかりと根付かせていく考えであります。

また、人の接触機会の抑制に向けましては、スタートアップ企業に対してリモートワークや遠隔でのサービス展開といった新たなビジネスモデルへの挑戦を後押しをして参ります。

以上が補正予算案の内容となっております。この予算案に盛り込んだ施策を梘子といたしまして、感染症対策に万全を期していただきたい。

そしてまた、昨日の都内の感染者数は10人でした。この間、STAY HOME 週間以降ですね、5月6日以降、1桁の日が見られるなど、陽性者の発生というのは、減少傾向にはございますが、STAY HOME 週間後の出勤者が増加している、繁華街での人の動きなど、感染拡大に繋がりがねない状況も見てとれるところでございます。

いまだ東京都は特定警戒都道府県に指定されているんだという事実、そしてまた、それに対する警戒を怠ってはいけないということで、「東京アラート」は継続中だということを改めて申し上げたいと思います。

それから先ほど、すでに報告がございましたけれども、1都3県の共同メッセージを、テレビ会議を開催いたしまして、発出することに、ワンボイスでいこうということでまとまりました。お互いの取り組みについて知事同士で情報の共有、それから意見交換を行い、都民、県民の皆さんに対して、感染予防の徹底を呼びかけるための共同メッセージでございます。そして、ここにも関係ありますように、みんなの命と暮らしを守り、これまでより一歩も二歩も進んだ新しい社会を創り上げる決意をこの共同メッセージに込めたところでございます。都民・事業者の皆様方におかれましては、今までの努力が、せっかくのこの努力がですね、水の泡にならないように、さらにご協力をお願い申し上げたいと存じます。

それから新型コロナウイルスとの戦い、まだまだ長期に渡ることが見込まれております。そして今後、感染症の拡大防止と経済社会活動が両立した「新しいあたりまえ」が定着した社会を構築していかなければなりません。

今週中には、「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ」を策定・公表をいたします。昨日の連合東京を皮切りといたしまして、区市町村、そして経済団体のトップの皆様方とテレビ会議を行いまして、直接ご意見をお伺いする予定といたしております。また、各局におかれましては、都民生活そして経済社会活動との両立を図る、そのことを目指して、都庁、総力を挙げて、このロードマップの内容の深化。深めていく、広げていく、そのことに取り組んでいただきたいと思っております。

引き続き、各局におかれましては、日々刻々と変化する状況を的確にとらえていただき、そして常に、都民そして事業者の皆さんの目線に立って、スピード感を持った取り組みをお願い申し上げます。私からは以上です。

【危機管理監】

ありがとうございました。

以上をもちまして、第24回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。